

玉島・笠岡道路事業 危険体験訓練に参加しました！

令和7年6月10日



6月10日（火）に、玉島・笠岡道路の工事現場で、事故防止・安全意識向上に向けた危険体感訓練に事務所職員で参加してきたので、その様子をお伝えします！



岡山県浅口市鴨方町六条院西地内

令和6年度 玉島笠岡道路六条院西鋼上部工事

① 墜落制止用器具（ハーネス）ぶらさがり危険体感

墜落制止用器具（ハーネス）を使って、万が一墜落してしまったときに、自身の体にどのような負担がかかるのか体感しました。
今回は訓練ということで、高さ2メートルほどの鉄の棒にぶらさがりました。



ハーネスをつけるのは、
今回が初めてでした。
太ももへの締め付けが強く、
（右写真）
またハーネス自体が
思っていた以上に重たく、
これを背負いながら作業を
行うのは大変だと感じました。



ハーネスを実際につけて、
ぶらさがりに挑戦！
今回は安全帯をつけてのぶらさがりの
様子を紹介します。

手足を離すと、宙に浮くことができますが、
完全にハーネスに身を委ねるのは、
怖いと感じました。
（左写真）

恐る恐る挑戦してみて、
なんとか宙に浮くことができました。
救助が来るまでこのままと考えると
けっこうきついです😓

ハーネスや安全帯を装着していると、
安心して作業に取り組むことができ
ると思いました。



② 安全帯 2 丁掛け訓練

足場などの墜落の危険がある高所で移動する際には、安全帯フックの付け替え作業が発生します。2つのフックを使いながら、訓練用の足場を歩く体験をしました。



今回は訓練用ということで、高さはそれほどありませんでしたが、10メートルほどの高さにいると想定して取り組みました。

足場から落下しないように、どうすれば安全に歩くことができるか、必死に考えながら取り組みました。2つあるフックをどう動かせばよいか、考えるのは思っていた以上に難しかったです。



一通り演習した後、解説をしていただきました。体の前でフックを交差させないこと、フックをかけてから歩き始めること…などアドバイスをいただきました。安全帯フックに対する理解が深まりました。



③ 飛来・落下危険体感

5メートルほどの高さから、地面に置いた植木鉢（人間の頭蓋骨と同じくらいの硬さのようです）に7kgほどの鉄を落とす様子を見学しました。



落とす前



落とした後



拡大写真

植木鉢は粉碎され、周囲に破片が飛び散っていました。

次に植木鉢の上にヘルメットを置いた状態で落下を行いました。ヘルメットに凹みはできたものの、植木鉢に損傷はなかったです。

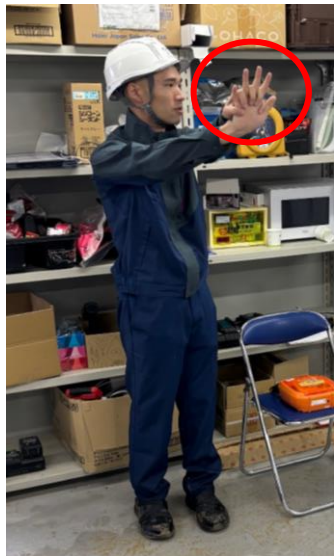
（左下写真）

さらに重い鉄を落としたところ、植木鉢にはひびが入り、ヘルメットには凹みができました。（右下写真）



④ AEDの適正使用方法について

胸骨圧迫、人工呼吸の方法、AED（自動体外式除細動器）の扱い方について伝授していただきました。



胸骨圧迫の際には、
手を交差させて、
5 cmほどへこませることが
ポイントのようでした。
(左写真)

人工呼吸の際には、
顔を上にあげることが
大切だとのことでした。
(右写真)



↑ AED
(自動体外式除細動器)

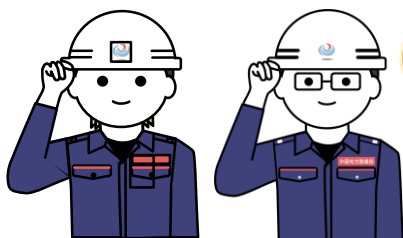


AEDの使い方について、
パットを貼る位置や貼り方、
胸骨圧迫との組み合わせ方について
教えていただきました。
(右写真)

目の前で周りの方が
倒れた時に、命を救うため、
何かしらの行動を起こすことの
大切さを改めて学びました。

⑤ 最後に

生憎の雨模様でしたが、普段ではなかなか味わえないような経験をすることができました。岡山国道事務所では、「事故ゼロ目標宣言」（工事事故撲滅 みんなで目指すゼロ災害）という目標を掲げています。訓練のなかで安全に工事を進めるための取り組みを発見することもできました。



ご安全に！
工事を進めて
ください